

E-15 当院における院内急変による集中治療室入室状況の検討

獨協医科大学埼玉医療センター 集中治療科/
Department of Intensive Care Medicine, Dokkyo
Medical University Saitama Medical Center
梶谷啓典, 高井千尋, 長谷川隆一

【背景】当院集中治療科では, surgical ICU として多職種チームで集中治療管理に従事している。一方で, 一般病棟において治療中に予期せぬ経過をたどる病状急変は必ず一定数起こりうるため, そういった患者の ICU 入室も時折発生する。院内急変は発生する数時間前にその兆候を呈することが多いとされており, その時点での介入に重きを置いた急変対応として Rapid Response System (RRS) という概念が近年一般的になってきている。そこで, 当院における院内急変発生状況の傾向を検討し, 発生前におけるより良い介入点を探ることで急変を事前に防ぐことができる可能性があると考えた。

【目的】院内急変により当院の ICU へ入室した患者の急変前の状態, 診断, 転機について, それらの傾向を検討すること。

【方法】対象は当院において令和3年4月~令和4年3月の間, 当院一般病床へ入室中に何らかの理由で病態が悪化し ICU へ入室した患者 98 人。カルテを参照し, 入院科, 入院病名, ICU 入室時病名, 急変前の状態や転機について検討した。尚 ICU 入室理由となる主病名は, 入院時病名との関連性の有無を問わず組み入れた。

【結果】入院科は, 循環器系 39 例, 消化器系 25 例, 呼吸器系 10 例, 腎泌尿器系 7 例, その他 17 例であった。入室理由としては, 心不全を含む急性呼吸不全, 急性心筋梗塞, 急性腎不全, 腸閉塞の順に多く, それぞれ 9 例, 8 例, 3 例, 3 例であった。

【結論】院内急変症例は循環器系の疾患が多く, 症候としては呼吸不全が最多であった。今後, さらにその傾向と予防対策, 早期介入方法について検討する必要がある。

E-16 上部消化管からの出血が疑われ, 救急外来を受診した患者への緊急造影 computed tomography に関する検討

¹⁾ 獨協医科大学埼玉医療センター 消化器内科

²⁾ 同 救命救急センター・救急医療科

鈴木優仁¹⁾, 畠山稔弘²⁾, 太田貴寛¹⁾, 岡田 舜¹⁾, 早川富貴¹⁾, 藤原 猛¹⁾, 山口真裕美¹⁾, 上笹貫俊郎²⁾, 鈴木光洋²⁾, 杉木大輔²⁾, 松島久雄²⁾, 片山裕祝¹⁾, 玉野正也¹⁾

【目的】上部消化管からの出血が疑われる患者への造影 computed tomography (以下 CT) に関する明確な指針はない。今回, 救急現場で上部消化管からの出血が疑われた患者へ緊急造影 CT を施行し, その所見が上部消化管内視鏡 (以下内視鏡) での緊急止血術の必要性の有無を予測し得るかどうか評価した。

【方法】2016 年 1 月 1 日~2020 年 12 月 31 日までの期間に当救命救急センターは, 病院前救護で上部消化管からの出血が疑われた原則全患者へ受診直後に緊急造影 CT を施行した。本記録を後方的に検討した。緊急造影 CT 所見である造影剤漏出や静脈瘤・腫瘍・穿孔・胃内の状況や他疾患を示す所見を評価した。さらに全ての胃内の状況を複数の研究者で客観的な定性評価に努めた。内視鏡による止血術の有無をゴールドスタンダードとして緊急造影 CT の感度・特異度を算出した。緊急造影 CT 施行後の内視鏡は止血術のための実施, 待機の内視鏡での止血術は緊急時での未実施 (見逃された) と位置付けた。

【結果】上部消化管出血を疑われた 145 人中, 緊急造影 CT 施行は 130 人だった。造影 CT 所見概要は, 造影剤漏出 11 人・静脈瘤 4 人・腫瘍 3 人・穿孔 1 人・下部消化管出血 1 人, さらにクモ膜下出血・急性胆嚢炎各 1 人を認めた。130 人中 95 人で緊急内視鏡を施行し, 55 人で止血された。緊急内視鏡の未施行 35 人中 21 人で待機の内視鏡が施行され, 7 人で止血された。ゆえに感度 88.7% (95%信頼区間 80.8~96.6%), 特異度 41.2% (95%信頼区間 29.5~52.9%) だった。

【考察】造影 CT 所見を網羅的に記述するも医師による判断基準は不明瞭であった。今後, 内視鏡による緊急止血術の必要性の予測に関する特異度の改善に, 内視鏡施行者の技量やバイタルサイン等を考慮すべきかもしれない。

【結論】緊急止血術への感度は高く, 緊急造影 CT はスクリーニングに一定の有用性が示唆された。